

筑波大学 STEAMリーダーシッププログラム

『課題創造学』講座 第4期

～課題解決の実践およびシーズや文化への理解～

Science

Technology

S T E A M

Leadership Program

Engineering

Art

Mathematics



筑波大学
University of Tsukuba



筑波大学長

永田 恭介

NAGATA Kyosuke

専門分野は分子生物学、1993年日本ウイルス学会杉浦奨励賞を受賞。本賞は、ウイルス学における顕著な研究業績をあげた若手研究者を対象とした賞。

Find a worthy problem

価値ある問題を見つけよう

筑波大学STEAM リーダーシッププログラム とは

筑波大学は、知の全ての分野において幅広い教育研究活動を展開する研究型総合大学として、自然と人間、社会と文化に係る幅広い学問分野において、深い専門性を追求すると同時に、既存の学問分野の垣根を越えた協働を必要とする領域の開拓に積極的に取り組み、国際的に卓越した教育や研究を実現することを目指しています。

また本学は、多くの国立・民間研究機関が集積する筑波研究学園都市という立地を活かして、開学より一貫して産官学連携による課題発見と解決に尽力してきました。

その筑波大学・筑波研究学園都市発の高度で先駆的な研究・教育等の成果の集大成を、いち早く社会に還元することを目的として実施するのが筑波大学STEAMリーダーシッププログラムです。

なお、本プログラムは筑波大学エクステンションプログラムの一つです。



筑波大学 准教授

落合 陽一

OCHIAI Yoichi

2010年にスーパークリエイター/天オブプログラマー認定、2013年マニフェスト大賞審査員特別賞、2015年Asia Digital Art Award優秀賞など各種多数の賞を受賞。

NAGATA Kyosuke

OCHIAI Yoichi



新たな未来創造の実現

多数の学問を俯瞰的に学び、総合的な力を養い、
課題創造力を身につけよう！

本プログラムは、課題解決力の先の課題創造力（課題発見力）を身に着けるための、
筑波大学の叡智を結集した少数精鋭向けプログラムです。

S T E A M

- S (Science) : 科学 様々な物事に好奇心を涵養
 - T (Technology) : 技術 ITに負けない発想力を育成
 - E (Engineering) : 工学 「生産力」や「空間的把握能力」を育成
 - A (Arts) : リベラルアーツ* 自分のイメージや考えを論理的に表現し、
それを他人に的確に伝えることによりコミュニケーション能力の育成
 - M (Mathematics) : 数学 「論理的思考力」を涵養
- *リベラルアーツは、明確な答えがない問題や課題を解決していくための知識やスキルを習得する学問のこと

第1回 8/29 (火)

金保 安則

KANAHO Yasunori

筑波大学副学長・理事(産学連携担当)
国際産学連携本部長



京都薬科大学薬学研究科博士課程修了。薬学博士。
米国NIH、コネチカット州立大学、SmithKline & French研究所などの研究員を経て、東京工業大学 助教授、東京都臨床医学総合研究所 部長、筑波大学教授を経て、現職。
2005年に文部科学省特定領域研究に採択。初代の筑波大学高細精医療イノベーションコア長。

*この日はオリエンテーション

魅力的な講師陣

プログラムは、有名講師陣による講義と最新分野を俯瞰できるグループワークから成り、組織を成功に導くための戦略的マネジメントの実践聴講と講師と受講者という通常の関係を越えた自由な討議が特徴です。

募集要項

期間：2023年8月29日(火)～2024年2月4日(日) (全27回)

オリエンテーション：8月29日(火) 18:00～21:00

プログラム：9月5日(火)～2月4日(日)

毎週火曜日20回と隔週金曜日6回 18:00～21:00

*最終日は2/4(日) 9:00～18:00

休講：12月26日(火)、1月2日(火)

定員：6～12名程度

受講料：350万円(税込)

講義会場：筑波大学東京キャンパス文京校舎 337講義室 他

受講対象者：社長候補、経営企画層の若手、

将来的に組織を担う人材などの若手経営幹部

修了証書：プログラムの75%以上を受講した受講生には

筑波大学発行の受講修了証書を授与



落合 陽一が毎回の講義に参加しグループワークを実施します

第2回 9/5 (火)

松崎 一葉

MATSUZAKI Ichijo

筑波大学大学院産業精神医学・宇宙医学研究グループ教授・精神科医



筑波大学大学院医学研究科博士課程修了。(医学博士)精神科医。
JAXA招聘研究員を経て、科学研究費新学術領域研究(宇宙に生きる)研究代表。宇宙飛行士を始めとした、知的労働者のメンタルヘルスマネジメントを専門とし「仕事量を減らさずに組織のメンタルヘルスを向上させる」ための施策を展開している。官公庁・企業のコンサルティングを求め、内閣官房内閣人事局・財務省・最高裁判所・最高検察庁・警察大学校・防衛省・人事院で系統的講義を行っている。本田技研工業では役員のエグゼクティブコーチングを担当し、DXと多様性推進の支援をしている。著書は「クラッシャー上司」「情けの力」など多数。2021年厚生労働大臣表彰

第3回 9/12 (火)

岡田 昌毅

OKADA Masaki

筑波大学 人間学 教授
働く人への心理支援開発研究センター長



社会人大学院生として、筑波大学大学院カウンセリング専攻(2000年)修了、名古屋大学大学院心理発達科学専攻(2007年)修了。博士(心理学)。
新日本製鐵(株)、新日鉄ソリューションズ(株)において、電気設備技術者、人材育成担当を20数年間経験。
近年の専門は「キャリア心理学」「産業・組織心理学」。厚生労働省の委員、キャリアコンサルティング協議会会長、産業・組織心理学学会前会長などを務める。

第4回 9/19 (火)

柳沢 正史

YANAGISAWA Masashi

筑波大学国際統合睡眠医学科学研究機構(WPI-IHIS)機構長・教授



筑波大学大学院医学研究科博士課程修了。
テキサス大学サウスウェスタン医学センターとハーヴェーズ医学研究所にて、24年にわたって研究室を主宰。2012年より文部科学省WPIプログラム筑波大学国際統合睡眠医学科学研究機構(WPI-IHIS)機構長・教授。2017年、筑波大発ベンチャー企業「(株)S'UIMIN」を起業。米国科学アカデミー正会員。紫綬褒章、慶應医学賞、文化功労者、ブレークスルー賞など受賞多数。

第5回 9/26 (火)

平山 素子

HIRAYAMA Motoko

筑波大学 体育系 准教授



筑波大学大学院体育研究科修了。
振付家・ダンサーとしても活躍。第3回世界バレエ&モダンダンスコンクールで金賞及びニジンスキー賞を受賞後、文化庁在外研修員としてベルギーへ留学。筑波大学に着任後は、振付家として新国立劇場などで独自性かつ洗練度高い作品を多数創作。2009年芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。無重力ダンスプロジェクトでパフォーマーを務めるなど開拓心にあふれた活動を展開している。美術家や音楽家とのコラボレーションも積極的に行い、「身体にまつわる現象」としてのダンスを日々研究中。フィギュアスケートの日本強化選手の表現力向上の指導も手掛ける。

第6回 10/3 (火)

山本 洋平

YAMAMOTO Yohei

筑波大学 数理物質系 教授



大阪大学で無機・物理化学の博士を取得後、東京大学および科学技術振興機構にて博士研究員として分子集合体の研究を行う。2010年より筑波大学に着任し、現在、高分子や生体分子を用いた光機能性材料の構築、特にマイクロレーザーに関する研究を展開中。研究論文をサイエンス誌やアメリカ化学会誌などに発表。科学技術振興機構CREST研究代表者。2022年1月にマイキュートック株式会社を設立し、ポリマーマイクロ球体の機能性材料としての事業化に着手。マイキュートック株式会社代表取締役。

期待できる成果

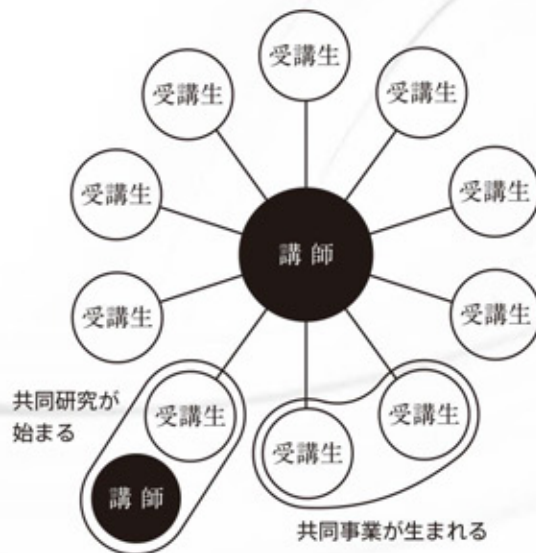
- 経営幹部に必要な思考法、理論、知識の修得
- 物事を抽象化し体系的に整理する能力(概念化能力)の修得
- 物事を広い視野で眺める能力(俯瞰力)の修得
- コミュニケーション力や場面適応力の向上
- 先端課題についての確かな理解と、これに裏づけられた専門的・総合的な判断力の獲得
- 各分野の専門家と異業種の受講者が連携できる人的ネットワークの形成

「筑波大STEAMネットワーク」の活用

最新分野の情報や、専門外の未知の情報などを
今回の講師陣をはじめとする最適な専門家に照会できます。

コミュニティの形成

課題創造学講座により誕生するコミュニティでは、未来を担う若手経営幹部や異業種との貴重な経験を継続的に共有できる同窓会組織「NEXTTEAM」を立ち上げています。会員は次期講座への参加や受講後でも学びを共有しお互いの情報交換と交流を継続できます。



第7回 10/10(火)

田中 佐代子

TANAKA Sayoko

筑波大学 芸術系 教授
芸術専門学群長



筑波大学大学院修士課程芸術研究科修了。博士(デザイン学)。グラフィックデザイン等を経て、2002年に筑波大学着任。2017年より現職。2010年より日本サイエンスビジュアルリゼーション研究会(JSSV)主催。2016年日本学術振興会科学研究費助成事業審査委員表彰。主な著書は「PowerPointによる理系学生・研究者のためのビジュアルデザイン入門」(講談社)。

第8回 10/17(火)

久野 成夫

KUNO Nario

筑波大学 数理物質系 教授
宇宙史研究センター長



東北大学大学院理学研究科修了。博士(理学)。自然科学研究機構国立天文台准教授・野辺山宇宙電波観測所所長を経て筑波大学数理物質系教授、現在に至る。地上で最も条件の良い南極内陸部からの観測を目指し、南極テラヘルツ望遠鏡計画を推進している。日本学術会議電気電子工学委員会URSI分科会電波天文学小委員会委員長。

第9回 10/24(火)

尾崎 典明

OZAKI Noriaki

筑波大学 客員教授



2004年九州工業大学大学院・工学研究科物質工学専攻修了。コンサルティング会社にて企業の新事業・新商品開発支援に携わる。2009年S-factory創業、企業に加え、自治体、NPO、スタートアップに対し支援を行う傍ら、官公庁等のアドバイザー等歴任。業種業態問わず、またその事業ステージによらず、それぞれの課題に応じた支援を実践。TXアントレプレナーパートナーズ 副代表理事、NEDO 事業カライザー、K-NIC スーパーバイザー、中小企業基盤整備機構 中小企業アドバイザーの他、筑波大学 客員教授を兼務。

第10回 10/31(火)

永田 恭介

NAGATA Kyosuke

筑波大学 学長



1976年に東京大学薬学部を卒業し、1981年に同大学博士課程を修了する。2008年には横浜市立大学との共同研究でインフルエンザウイルスの増殖に必要な酵素(RNAポリメラーゼ)の構造を解明し、Nature誌、欧州分子生物学機関誌等に発表した。2013年4月より、筑波大学学長(第9代)を務め現在に至る。国立大学協会会長、大学基準協会会長を歴任。文部科学省中央教育審議会大学分科会長、外務省科学技術外交推進会議委員を務める。

第11回 11/7(火)

吉原 ゆかり

YOSHIHARA Yukari

筑波大学 人文社会系 教授



博士(文学)(筑波大学、2004年)。専門は文学・文化研究、とくに英米文学・シェイクスピアと日本ポップ・カルチャーの関係。著作にRobinson Crusoe in Asia, "Shakespeare in Manga/ Anime and Cosplay," 「これ、シェイクスピア、マジで?」、 「ロリータ・ファッションはグローバルでフェミである」など。

講座カリキュラム

スケジュール

講座当日のメイン講師に関する基礎学習は、最新の研究論文や書籍によって情報提供し予習していただきます。

18:00～ 講義(90分)

各講師が、自身の研究や経験、組織を成功に導くための戦略的マネジメントの実践などを講義

各分野の講師陣が、本プログラムでしか聞けない講義を行います

19:30～ 質疑応答(30分)

20:00～ 休憩(5分)

20:05～ グループワーク(55分)

グループワークにて前半の講義や問題のスキームを議論する
各受講生が問題や課題理解と自身の分野でどう解決するかについて
各グループごとに議論発表

講義により宿題やレポートの提出もあります

2023	日	月	火	水	木	金	土
8月			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

2023	日	月	火	水	木	金	土
9月						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30

2023	日	月	火	水	木	金	土
10月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

2023	日	月	火	水	木	金	土
11月				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30		

2023	日	月	火	水	木	金	土
12月						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30

●全27回開催 開催時間は18:00～21:00

■：毎週火曜日 講義＋ワークショップ(20回)

■：隔週金曜日 実践的ワークショップ(6回シリーズ)

■：最終日(9:00～18:00)

第12回 11/14(火)

倉橋 節也

KURAHASHI Setsuya

筑波大学 ビジネスサイエンス系 教授



計測・制御関連企業に勤務しながら、1995年放送大学卒業、2002年筑波大学大学院経営・政策科学研究科修了、博士(システムズ・マネジメント)、2006年筑波大学へ転職。社会シミュレーション、異常発見、機械学習、ゲーミングなどの研究に従事。2020年より内閣官房COVID-19 AI・シミュレーションプロジェクトメンバー。

第13回 11/21(火)

辻村 真貴

TSUJIMURA Maki

筑波大学 生命環境系 教授
筑波大学マレーシア海外分校設置準備室長



筑波大学で水文学を学び、同大学院地球科学研究科にて博士(理学)取得。地下水や湧水、河川水が“どこから(起源)”, “どこを(経路)”, “どの位の時間(年代)”をかけてやって来るかという“水の履歴”を、国内、アジア、アフリカなど各地で研究。内閣官房、文科省、国交省、国際原子力機関、自治体など、内外の委員を務める。日本地下水学会理事。国際水文科学協会・国際トレーサー委員会副委員長。

第14回 11/28(火)

中内 靖

NAKAUCHI Yasushi

筑波大学 システム情報系 教授
人工知能科学センター 人工知能基盤研究部門長



慶應義塾大学大学院理工学研究科博士課程修了。博士(工学)。防衛大学校助教授、カーネギーメロン大学客員研究員を経て、2014年筑波大学教授。2018年～2021年IEEEロボティクス・自動制御部門副会長。専門はロボティクス、環境知能化、IoT、AI等。2014年に産業用水中ドローンを事業展開する筑波大学発スタートアップ(株)FullDepthをCEOとして創業。2016年より同社取締役会長。

第15回 12/5(火)

野村 暢彦

NOMURA Nobuhiko

筑波大学 生命環境系 教授
微生物サステナビリティ研究センター長



広島大学大学院工学研究科博士課程修了。米国Dartmouth Medical School客員研究員、東京大学生物生産工学研究センター客員教授を経て、2015年よりERATO野村集団微生物制御プロジェクト研究総括、2020年よりACT-Xプロジェクト「環境とバイオテクノロジー」研究総括、2022年より筑波大学微生物サステナビリティ研究センター(MiCS)センター長に就任。コミュニケーション、社会組織を微生物から読みとる研究を進めている。日本バイオフィーム学会理事、環境バイオテクノロジー学会理事を務める。

第16回 12/12(火)

久野 譜也

KUNO Shinya

筑波大学 体育系 教授
スマートウェルネスシティ政策開発研究センター長



筑波大学大学院博士課程医学研究科修了。医学博士。2011年より現職。2002年に健康増進分野日本初の大学発VB株式会社つくばウェルネスリサーチを設立。代表取締役社長兼任。科学的根拠に基づいた高齢化社会に対する日本の健康政策の構築を目指して2009年全国8市長とSmart Wellness City首長研究会を立ち上げ、現在43都道府県119市区町村に拡大。内閣府、国交省、スポーツ庁等各種委員会委員を務める。

2024	日	月	火	水	木	金	土
1月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

2024	日	月	火	水	木	金	土
2月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29		

実践的ワークショップ(6回シリーズ)

サイエンスフィクション(SF)を イノベーション創発に応用し 誰も予想していない未来創造を実践

課題：ハズレる未来像を考える

講師

宮本 道人 MIYAMOTO Dohjin

東京大学大学院 情報理工学系研究科 特任研究員
科学文化作家、応用文学者、SFコンサルタント

サイエンスフィクションを用いた独自の未来共創メソッドを開発し、多数の企業、自治体、学術機関の新規事業開発、ビジョン研修、公開ワークショップに協力。単著に『古びた未来をどう壊す?』、編著に『SFプロトタイピング』『SF思考』など。
1989年生、博士(理学、東京大学)。



全6回(隔週金曜日 18:00~21:00)

1回目	11/10(金)	18:00-21:00	講義60分+ワークショップⅠ
2回目	11/24(金)	18:00-21:00	ワークショップⅡ
3回目	12/8(金)	18:00-21:00	ワークショップⅢ
4回目	12/22(金)	18:00-21:00	ワークショップⅣ
5回目	1/12(金)	18:00-21:00	ワークショップⅤ
6回目	1/26(金)	18:00-21:00	発表会

第17回 12/19(火)

佐藤 孝明

SATO Tak-Aki

筑波大学 特命教授
プレジジョン・メディスン開発研究センター長



専門分野：分子腫瘍学(医学博士)
米国コロンビア大学分子腫瘍学研究室・助/准教授を経て、筑波大学グローバル教育院での大学院生教育などを歴任する傍ら、国内外で幅広い研究活動を推進。2011年~2014年最先端研究開発支援プログラム(中心研究者：田中耕一)を共同提案。2020年~(株)島津製作所シニアフェロー。2017年~筑波大学特命教授、プレジジョン・メディスン開発研究センター長、現在に至る。

第18回 1/9(火)

澁谷 彰

SHIBUYA Akira

筑波大学 医学医療系 教授
革新的創薬開発研究センター長



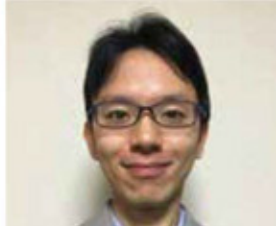
内科臨床12年を経て、米国DNAX分子細胞生物学研究所で免疫学研究開始。理化学研究所免疫アレルギー研究センターチームディレクター、筑波大学基礎医学系長、筑波大学若手研究者育成推進委員会委員長、文科省リーディング大学院ヒューマンバイオロジー学位プログラムリーダーなど歴任、Hajime Memorial Award、第26回つくば賞、令和2年度文部科学大臣表彰 科学技術賞など受賞。
TNAX Biopharma Corp, CSO。

第19回 1/16(火)

登 大遊

NOBORI Daiyuu

筑波大学 客員教授



2017年3月筑波大学大学院システム情報工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。ソフトウェア技術者兼経営者。ソフトイーサ株式会社代表取締役。専門はVPN(仮想プライベートネットワーク)などの通信技術を含めたシステムソフトウェア。2017年4月から筑波大学国際産学連携本部准教授(産学連携)。2017年8月より独立行政法人情報処理推進機構(IPA)サイバー技術研究室を設立し運営中。

第20回 1/23(火)

鈴木 健嗣

SUZUKI Kenji

筑波大学 学長補佐
システム情報系 教授



早稲田大学大学院理工学研究科物理学及応用物理学専攻修了。博士(工学)。早稲田大学助手、筑波大学講師、准教授、および伊ジェノヴァ大学、仏コレージュ・フランス客員研究員を経て、2016年筑波大学教授。専門は人工知能、サイバニクス他。附属病院未来医工融合研究センター副センター長。2019年より米国IEEEロボティクス・自動制御部門理事。2021年つくば市顧問・スーパーシティ構想アーキテクト。2022年より学長補佐(スマートシティ担当)

第21回 2/4(日)

落合 陽一

OCHIAI Yoichi

筑波大学 図書館情報メディア系 准教授



筑波大学でメディア芸術を学び、東京大学大学院学際情報学府にて博士号取得。応用物理、計算機科学、研究を行い、研究論文は難関国際会議SIGGRAPHなどに複数採択。現在、筑波大学図書館情報メディア系准教授・デジタルネイチャー開発研究センター センター長 / Pixie Dust Technologies, Inc. CEO。内閣府、厚労省、経産省の委員、2025年大阪・関西万博のプロデューサーとして活躍中。

修了生からのメッセージ



幅谷 俊一郎 (3期生)
茨城トヨペット株式会社 代表取締役社長

もっと早くこの講座を受けたかった！

自動車業界を取り巻く環境の変化や、わが社が100年企業を目指す時期に、私が社長に就任しました。将来に不安をかかえ、自分磨きに投資したいと考えている中、申し込みをしました。

少人数で受講したことにより、講師のひとこと一言の圧が凄く濃い半年間で、この先5年分を買ったくらいのインパクトを受けました。そして、小さな世界感で生きていたこと、日本と世界は今何が課題なのかを気づくようになりました。

この講座で一番心に残ったことは、多様性の重要さ、ダイバーシティの神髄を得られたのと、学ぶ楽しさを知れたことです。現時点では、大きな視野で物事を捉えられるようになり、同じ価値観をもって多様な意見を出しあえる環境を作り、さまざまな経験を社員と共にすることが増えました。

今、楽しみにしているのは OBとしてまたSTEAMに参加し交流することです。早いうちに受けた方が、その時のトップニュースを早く深く知る機会が増え、多様化する社会に上手く適応出来る力がつくと思います。

自然とゼロベースから企画するようになった！

副部長になって半年のころ、会社からの指名でこの講座を受けることになりました。2,000名の社員の中から選ばれたことはとても光栄に思いましたがプレッシャーもありました。しかし、とてもありがたく感じ、会社にリターンできるようにと受講に臨みました。

各界のトップランナーを集めた講師陣でしたので、受講後にニュースになるような情報も多く、情報や鮮度の大切さを目の当たりにしました。一方通行の講座ではなく愚問にも答えていただき、毎回時間が経つのが早かったです。

その後、職場においても規制に捕らわれないアイデアが湧いたり、意見の幅が広がったり、自然とゼロベースから企画するようになりました。漠然と何かを変えたいと思っている方でも十分に刺激になって、自分が変わる講座です。



佐藤 喜晴 (3期生)
関彰商事株式会社
エネルギー変換フォーメーション本部 マーケティング部 部長

新しい知識やスキル、価値観を掴みとる、
学びたい時がチャンスです！

[お問い合わせ・お申し込み]

筑波大学 エクステンションプログラム事務局

〒305-8550 茨城県つくば市春日1-2 高細精医療イノベーション棟1F

Tel: 029-859-1648 (受付時間：月～金 9:30～17:00)

お問い合わせはこちらから ep-sanren@un.tsukuba.ac.jp



YouTube



申し込み

【提出物】申込書、小論文、組織長からの推薦書、(秘密保持契約書はオリエンテーション時記入)

お申し込みはHPにて <https://extension.sec.tsukuba.ac.jp>

